

(別紙4(2))

事業所名 雲陽の里

作成日: 平成 23年 8月 22日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域との付き合い 行事や防災に関してのボランティアの受け入れや法人の祭りでの地域住民との交流、各種学校の体験学習などの受け入れを行っているが、日常的に地域との交流が出来ていない。	#1 行事等のボランティアや学校の実習などの受け入れを継続して行うようにする #2 散歩・買い物など本人の希望を確認しながら外出できる機会が持てるようにする。	#1 行事等のボランティアの依頼をする、また学校等からの実習依頼を受けるようにする。 #2 日頃から本人の希望が表出できるような関わりを持ち、外出などの希望があれば計画を立てられるようにする。	6ヶ月
2	20	馴染みの人や場との関係継続の支援 入居前のアセスメントにより情報の把握は出来ているが、本人の意向を捉えながら関係継続を図るといった積極的な支援が出来ていない。	馴染みの人や場との関係継続のための本人の意向が確認できるような関わりを持つようにする。	#1 日頃から本人の希望が表出できるような関わりを持ち、外出などの希望があれば計画を立てられるようにする。 #2 希望に関して家族に伝え、外出などの調整や計画が立てられるようにする	6ヶ月
3	40	食事を楽しむことの出来る支援 食事摂取そのものの援助ではなく、一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事が楽しみなものになるような十分な支援ができていない。	出来る事の役割を含めて職員と一緒に行う機会を持つようにし、利用者が食事を楽しむにできるようにする。	食事やお茶など、準備なども含めて出来る事を考えたり、希望が表出できるようにしながら、一緒にする機会・一緒に過ごす機会を増やすようにする。	6ヶ月
4	4	運営推進会議を活かした取り組み 家族、地区社協関係者などをメンバーに開催しているが、隔月の定期開催や意見などを反映させた運営が十分に出来ていない。	定期的な運営推進会議の開催と、そこでの意見などを反映させる仕組みを作る。	#1 運営推進会議でホームの現状報告を継続して行い、地域との関わりやホームでのケアのあり方について意見交換を行うようにする。 #2 推進会議での意見をカンファレンスなどで職員と検討し、必要なものは取り入れるようにする	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。